

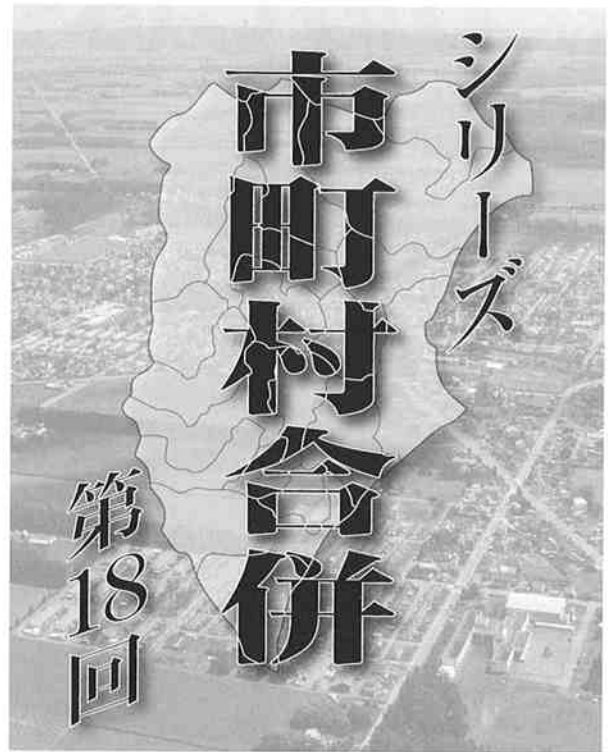
# 士幌町・上士幌町 任意協議会が解散

## 広域連携検討組織の設置による 新たなまちづくりがスタート

士幌町・上士幌町任意合併協議会の第7回協議会が6月11日、士幌町で開かれ、協議会を解散することが決定されました。

また、今後は両町による広域連携検討組織を立ち上げ、新たなまちづくりに向けて、さらに協力・連携を深めることが確認されました。

今回は第6回任意合併協議会(3月2日)以降の経過と解散を決定した第7回協議会の概要をお知らせします。



### 財政推計の作成と 住民説明会の開催

第6回協議会で承認された「財政推計と現況比較」は、住民が合併問題を考える上で不可欠な資料として作成され、3月下旬に全戸に配布されました。また、本町では独自に「自立のための行財政シミュレーション」を作成し、同時に配布しています。これは、自立の可能性とその条件を住民に明らかにし、合併問題を考える上で多様な選択肢があることを住民に示すために行ったものです。その後、両町は3月下旬から4月下旬にかけて住民説明会や団体懇談会などを開催し、最終的な町の方針決定に向けた作業が進められました。※地域懇談会の概要は、広報6月号に掲載

### 士幌町からの申し入れ

5月10日、小林士幌町長が本町を訪れ、竹中町長に対し「任意合併協議会から法定合併協議会への移行」について申し入れがありました。その背景としては、士幌町が3月下旬から実施した地域懇談会では、「自立は難しく、合併はやむを得ない」との雰囲気がある

強く、議会特別委員会においても「合併を前提にした法定合併協議会への移行」の申し入れを行うことが確認されたことによるものです。

その際、竹中町長は、①本町の地域懇談会では、「自立」という意向が強い。②議会の意向を把握した上で最終的な方向(結論)を出したい。③どの

### 自立をめざす

ような結果になっても、お互いが理解し、協力体制を維持できる方向性を見出すことが肝心である。との回答を行っています。

5月12日開催の第15回上士幌町議会市町村合併調査特別委員会では、地域懇談会での



▲6月11日、任意合併協議会で発言する竹中町長



▲6月11日開催の任意合併協議会の様子

意見交換の概要や参加者アンケートの結果が報告されました。

委員からは、懇談会への参加者が意外に少なかったことやアンケート結果の受け止め方について町長の見解を求め、質問があり、町長からは、「これまで地域懇談会のほか、出前講座などで延べ1000人あまりの町民に説明し、意見をいただく機会を設けてきた。新聞報道などでも町民への情報は伝わっており、懇談会の状況(雰囲気)は重く受け止める必要がある。」との見解

が示されました。

また、「自立のための行財政シミュレーション」については、その実現の可能性に対する質問があり、町長からは、①単に人件費を削減するだけでは自立は実現できない。②住民との役割分担(協働)が大前提となる。③地方交付税は厳しく想定することで、結果として住民に安心感を与えることができる。④建設事業費は災害復旧費などの特殊事情を除くと通常ベースを確保していることなどが説明されました。

最後に、議長・委員長を除く14名の各議員の考え方が示され、判断を保留した1名を除く13名が「自立をめざすべき」という結果となりました。このような中で、特別委員会としては「広域連携による自立をめざす」との方向で任意合併協議会に望むことが確認されました。

## 任意協議会の解散と 広域連携検討組織の 立ち上げを確認

6月11日、最終的な方向を決定するための第7回土幌町・上士幌町任意合併協議会が開催されました。そこでは両町の議会特別委員会から報告があり、土幌町からは「法定合併協議会への移行を目指したが、上士幌町が自立の方向を決定したことから、移行は困難と判断した」。上士幌町からは「広域行政を推進しながら自立をめざす。」ことが説明されました。また、幹事会からは①両町の特別委員会において法定合併協議会への移行が困難と判断した以上、任意合併協議会は解散することが妥当。②しかし、住民サービス維持・充実に向けた効率的な行財政運営は重要な課題であり、今後は2町による広域行政について引き続き検討する必要がある。との「まとめ」が示されました。

その後、休憩をはさんで協議会が再開され、会長及び副会長より次のとおり提案があり、全会一致で承認されました。

### 【提案内容】

本日まで7回にわたる協議会と12回の幹事会を開催し協議調整を重ねてきましたが、両委員長からの報告及び幹事会におけるまとめのとおり、これ以上合併の論議を進めることは困難であると判断し、土幌町・上士幌町任意合併協議会は発展的に解散することを提案します。なお、今後は2町による広域連携のための検討組織を設置し、両町の効率的な行政運営と更なる信頼関係の強化に努めたいと考えます。

### 6月定例議会において 行政報告

6月17日、6月定例議会最終日において、議会特別委員会の委員長報告の後、町長より行政報告が行われ、これまでの経過報告とともに新たなまちづくりに向けた固い決意が示されました。

### 新たなまちづくりへ

合併問題の本格的な協議がスタートして2年が経過しました。この間、全国の市町村は「町の将来を左右する重要な問題」として「平成の大合併」の渦の中に巻き込まれてきま

した。本町は最終的に「自立」の道を選択しましたが、この2年間の取り組みは、行政はもとより、町民の中に色々な変化をもたらしたといえます。地方交付税の急激な削減によって自治体財政はこれまでになく厳しい局面を迎え、多くの自治体は「合併」または「自立」の道を模索することとなりました。その過程では住民、議会、行政が共に将来の姿を見据えながら、「将来に禍根を残さない」ことを念頭に真剣な議論を重ねてきました。このように町の現状や課題について三者が共に理解し意見交換できたことは、住民と行政が役割を決め、一緒になってまちづくりを進める「協働のまちづくり」に向けた大きな一歩になったといえます。

### 最後に

この間の取り組みに対し大変お忙しい中ご参加をいただき、貴重なご意見やご提言をいただいた町民の皆様には心から感謝を申し上げます。同時に、新たなまちづくりに向けてご理解とご協力をお願い申し上げます。シリーズ市町村合併を終了させていただきます。